クレマート®乳剤

■種 類 名：ブタミホス乳剤
■有効成分：ブタミホス---------- 50.0%
■化管法指定物質：ブタミホス［第１種］ ----------50.0%
キシレン［第１種］ ----------17.0%《13～21%》
エチルベンゼン［第１種］ ----------16.0%《12～20%》

■登録番号：第17660号（住友化学登録）
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：1990.10.31
■性　　状：黄色澄明可乳化油状液体
■有効年限：4年
■包　　装：500㎖×20本
■危 険 物：第二石油類危険等級Ⅲ、火気厳禁

【特長】

- メヒシバなどイネ科雑草に高い効果を示す土壌処理剤。
- 雑草発生前に散布することにより高い効果を発揮する。
- 様々な野菜に使用可能で、使いやすい畑作園芸用除草剤。

【適用内容】（2024 年 11 月末日現在）

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 薬量	使用量 希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	ﾌﾞﾀﾐﾎｽを含む農薬の総使用回数
メロン 漬物用メロン すいか 漬物用すいか かぼちゃ	一年生雑草	定植･マルチ前 （雑草発生前）	200～400 ㎖/10a	100～150 ﾘｯﾄﾙ/10a	1 回	全面土壌散布	1 回
レタス なす		定植前又は定植･マルチ前 （雑草発生前）					
キャベツ きゅうり いちご		定植前 （雑草発生前）					
ねぎ、わけぎ あさつき		定植活着後（雑草発生前） 但し定植 10 日後まで					
ばれいしょ さといも にんにく らっきょう やまのいも		植付後萌芽前 （雑草発生前）					
らっかせい にんじん パセリ		は種後発芽前 （雑草発生前）					
こんにゃく		植付後又は培土後 （雑草発生前） 但し収穫 120 日前まで					
たまねぎ		春播栽培の定植後 （雑草発生前） 但し収穫 60 日前まで					
		秋播栽培の定植後 （秋季の雑草発生前） 但し収穫 60 日前まで					
アスパラガス		萌芽前(雑草発生前)					
ピーマン とうがらし類		定植前 （雑草発生前）					
はくさい とうがん ブロッコリー ひろしまな			200 ㎖/10a				
うど		定植後出芽前 （根株養成圃） （雑草発生前）					
わらび		株養成期 （地上部なし） （雑草発生前）	200～400 ㎖/10a				
作物名	適用	使用時期	使用量		本剤の	使用	ﾌﾞﾀﾐﾎｽ

<table>
<tr><th></th><th>雑草名</th><th></th><th>薬量</th><th>希釈
水量</th><th>使用回数</th><th>方法</th><th>を含む
農薬の総
使用回数</th></tr>
<tr><td>グラジオラス</td><td rowspan="2">一年生
雑草</td><td>植付後(雑草発生前)</td><td rowspan="4">200～
400 ㎖
/10a</td><td rowspan="7">100～
150 ﾘｯﾄﾙ
/10a</td><td rowspan="7">1 回</td><td rowspan="2">全面土壌
散布</td><td rowspan="3">1 回</td></tr>
<tr><td rowspan="2">きく
（ポットマム）</td><td>定植後(雑草発生前)</td></tr>
<tr><td>アメリカ
ネナシ
カズラ</td><td>定植後
（雑草発生揃期まで）</td><td>雑草茎葉
散布又は
全面土壌
散布</td></tr>
<tr><td>つつじ類</td><td rowspan="3">一年生
雑草</td><td>植付後又は生育期
（雑草発生前）</td><td rowspan="3">全面土壌
散布</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>たばこ
（折衷マルチ栽培）</td><td>植付 10 日前まで
（雑草発生前）</td><td>200 ㎖
/10a</td><td rowspan="2">1 回</td></tr>
<tr><td>ケナフ</td><td>は種後出芽前</td><td>300～400
㎖/10a</td></tr>
</table>

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 本剤は雑草発生前処理の効果が大きく、雑草が大きくなってからの処理では効果が劣るので適期に処理すること。
- 多年生雑草、キク科雑草及びツユクサには効果が劣るので、それらが優占する圃場での使用はさけること。
- 土壌が極度に乾燥している場合は効果が劣るので土壌が適度の水分を含んでいる時に使用すること。又極度の過湿条件下では薬害のでることがあるので使用をさけること。
- 砂質土壌では薬害を生じやすいので所定量の範囲内で少なめの薬量を使用すること。
- 播種又は植付後は砕土、整地、覆土はていねいに行い均一に散布すること。
- 作物の生育中に散布する際はできるだけ薬剤が作物にかからないように注意すること。
- 定植前処理の場合、薬剤のかかった土壌が作物の根にふれないように注意して定植を行うこと。
- たまねぎに使用する場合、春先などの気温が高くなる時期の散布は薬害を生じるおそれがあるので十分に注意すること。
- 秋播きたまねぎの春季処理は、薬害を生じるので使用しないよう十分注意すること。
- はくさいの場合、定植後に激しい降雨があると薬害を生じることがあるので処理時期に注意すること。
- たばこに使用する場合、薬害を生じることがあるので、植付時に処理土壌が茎葉に接触しないように注意すること。またトンネル栽培および改良畦面栽培では使用しないこと。
- 散布の際、付近の他の作物にかからないように注意すること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
  - ◆ 関係機関(都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないよう注意すること。
  誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。
  本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- ❖ 本剤による中毒の治療法としては動物実験で硫酸アトロピン製剤及びＰＡＭ製剤の併用投与が有効であると報告されている。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
  眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
  付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。
  また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は身体を石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
  使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 危険物第４類第２石油類に属するので火気には十分注意すること。
- ❖ 保管：火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管すること。